

# 山梨県文学館協議会

平成25年2月26日(火)

## 目 次

ページ

山梨県文学館協議会名簿	1
文学館の基本理念について	2
文学館関係者の行動規範について	3
施設利用状況	6
観覧者数の推移	8
平成25年度企画展等予定	12
教育普及事業について	13
資料情報課事業一覧	16

## 山梨県文学館協議会名簿

任期:平成23年9月29日～平成25年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野 (出身団体)
委 嘱	やじま たかひろ 矢島 孝浩	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (甲斐市教育委員長)
"	かみな おさみ 上名 をさみ	県社会教育委員代表	社会教育関係 (山梨県社会教育委員)
"	のうの はつみ 濃野 初美	山梨文芸協会委員	学識経験者
"	むこうやま ふみと 向山 文人	(報道関係) 山梨日日新聞社論説委員長	学識経験者
"	うえまつ ゆうじ 植松 裕二	(報道関係) UTY 放送本部・報道制作局長	学識経験者
"	やまかけ たいすけ 山影 泰輔	(報道関係) NHK 甲府放送局副局長	学識経験者
"	いけだ なおたか 池田 尚隆	山梨大学教授	学識経験者
"	わたなべ きゆうじ 渡辺 久壽	山梨英和大学教授	学識経験者
"	かずの つよし 数野 強	山梨ことぶき勸学院学院長	学識経験者 (元 県教育長)
"	うえの みほこ 上野 美穂子	主婦	家庭教育関係者
"	しみず あやこ 清水 章子	主婦	家庭教育関係者
"	おとぐろ ゆきえ 乙黒 幸江	前中央市立玉穂生涯学習館館長	家庭教育関係者
任 命	さとう きみこ 佐藤 喜美子	県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (笛吹市立春日居中学校長)
"	しみず とおる 清水 澄	県高等学校長協会代表	学校教育関係 (上野原高校校長)

## 山梨県立文学館の基本理念

### ○設置目的（山梨県立文学館設置及び管理条例）

文学に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する。

### ○求められる基本的機能（文学館構想策定懇話会提言）

- 1 郷土に根ざした文学を展望する機能
- 2 本県に関わらず広く文学全般を展望できる機能
- 3 文学に関わる研究や創作の場を提供する機能

### ○目指すべき方向性（案）

#### ◇知識を深める文学館

文学資料の収集と公開、常設展や多彩な企画展の開催、学校への支援、様々な教育普及事業の展開等により、生涯にわたり文学に関する知識を深めることができる文学館。

#### ◇発見できる文学館

山梨出身・ゆかりの文学者や山梨が描かれた文学作品を中心とした展覧会や講演会の開催等により、山梨の人情、風土、歴史等を再発見することができる文学館。

#### ◇楽しめる文学館

絵画や映画等に関連した視覚に訴える企画や子ども向け企画など、多種多様な事業の実施により、「芸術の森公園」の恵まれた自然の中で、幅広い層が文学に親しみ、楽しむことができる文学館。

#### ◇意欲をかき立てられる文学館

著名作家や文化人の講演会の開催、館報や研究紀要等の発行、やまなし文学賞の推進等により、文学に関する研究や文学作品の創作等に意欲をかき立てられる文学館。

#### ◇未来へつなげる文学館

文学資料を適切な環境で保管し、後世に伝えるとともに、県民や有識者の意見やアイデアを活かしながら、学校や地域、他の施設とも連携する中で、各種事業を展開することにより、文化を未来へつなげることができる文学館。

付記 「目指すべき方向性」については、おおむね5年ごとに見直しを行うものとする。

# 山梨県立文学館関係者の行動規範

山梨県立文学館

平成25(2013)年4月1日 制定

---

## 趣旨

山梨県立文学館（以下「県立文学館」という。）は、人類共有の財産である貴重な資料を分かち合い、文化を継承、創造していく機関である。県立文学館は、過去と現在と未来をつなぐことで、豊かな感性と知性にあふれる力ある社会を築くことに貢献する。このような県立文学館の公益性を高めるために、県立文学館に携わる者が尊重すべき拠りどころとして、この行動規範を示す。

## 対象

この行動規範は、山梨県の職員、指定管理者の職員、指定管理者から業務委託を受けた者の従業員、山梨県立文学館協力員をはじめとするボランティア、インターン等の県立文学館に携わるすべての者を対象とする。

---

# 山梨県立文学館関係者の行動規範

平成25(2013)年4月1日 制定

---

## 行動規範 1. 貢献

県立文学館に携わる者は、県立文学館の公益性と未来への責任を自覚して、学術と文化の継承・発展・創造のために活動する。

## 行動規範 2. 尊重

県立文学館に携わる者は、資料の多面的な価値を尊重し、敬意をもって扱い、資料にかかわる人々の多様な価値観と権利に配慮して活動する。

## 行動規範 3. 経営

県立文学館に携わる者は、県立文学館の使命や方針・目標を理解し、目標達成のために最大限の努力を行い、評価と改善に参画する。県立文学館は、経営資源を最大限に活かし、透明性を保ち、安定した経営を行うことで公益の増進に貢献する。

## 行動規範 4. 収集・保存

県立文学館に携わる者は、資料を過去から現在、未来へ橋渡しをすることを社会から託された責務と自覚し、収集・保存に取り組む。また、山梨県、山梨県教育委員会及び県立文学館の定める方針や計画に従い、正当な手続きによって、体系的にコレクションを形成する。

## 行動規範 5. 調査研究

県立文学館に携わる者は、県立文学館の方針に基づき、調査研究を行い、その成果を活動に反映し、県立文学館への信頼を得る。また、調査研究の成果を積極的に公表し、学術的な貢献を行うよう努める。

## 行動規範 6. 展示・教育普及

県立文学館に携わる者は、県立文学館が蓄積した資料や情報を人類共有の財産として、展示や教育普及活動など様々な機会を捉えて、広く人々と分かち合い、新たな価値の創造に努める。

## 行動規範 7. 研鑽

県立文学館に携わる者は、教育・研修等を通じて、専門的な知識や能力、技術の向上に努め、業務の遂行において最善を尽くす。また、自らの知識や経験、培った技能を関係者と共有し、相互に評価して文学館活動を高めて行く。

## 行動規範 8. 発信・連携

県立文学館に携わる者は、人々や地域社会に働きかけ、他の機関等とも対話・連携して、県立文学館の総合力を高める。

## 行動規範 9. 自律

県立文学館に携わる者は、財団法人日本博物館協会が定めた「博物館の原則」とこの行動規範に基づき活動する。

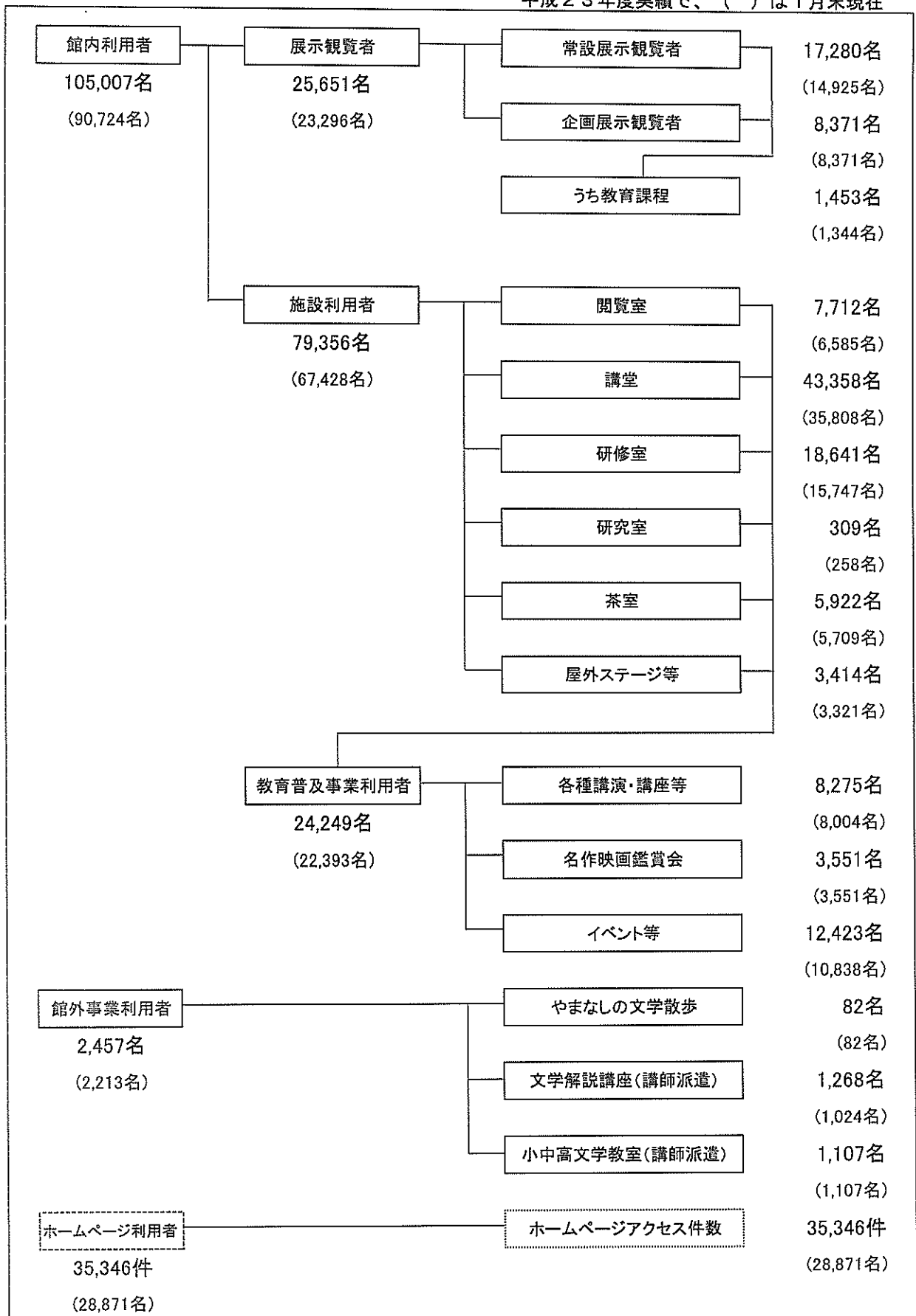
また、博物館法及び同施行令、地方自治法及び同施行令、山梨県立文学館設置及び管理条例及び同施行規則等の関連法令や ICOM（国際博物館会議）の倫理規程、県立文学館の館長の定める要綱・要領等を遵守しなければならない。

## 行動規範 10. 設置者への働きかけ

県立文学館の設置者である山梨県には、県立文学館が使命を達成し、公益性を高められるよう、財源の確保、人的措置、施設整備等の基盤の整備に努めるよう要請する。また、県立文学館にかかわる人と収蔵品の安全確保を図るよう要請する。

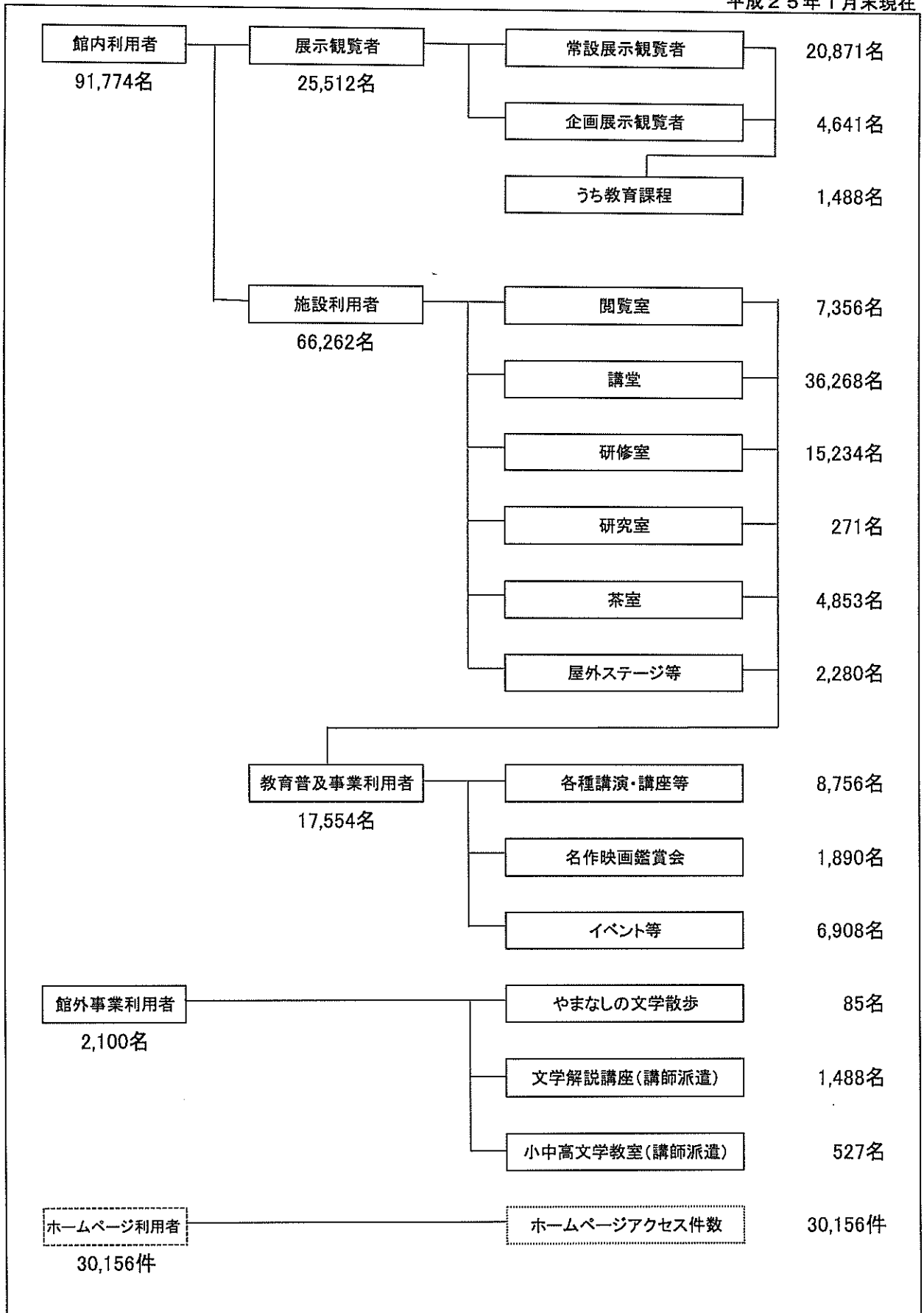
# 文学館「利用者」の状況

平成23年度実績で、( )は1月末現在



○利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成25年1月末現在





## 文学館の観覧者数の推移について

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	260	20,871	4,641	25,512
計	6,803	669,010	335,909	1,004,919

平成24年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,602	62
5	27	2,373	88
6	27	1,825	68
7	27	1,714	63
8	28	4,119	147
9	26	1,629	63
10	27	2,851	106
11	28	3,577	128
12	18	506	28
1	26	675	26
2			
3			
計	260	20,871	80

平成23年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	864	33
5	26	1,960	75
6	26	1,194	46
7	26	1,389	53
8	27	1,986	74
9	26	1,171	45
10	29	1,658	57
11	26	3,248	125
12	24	848	35
1	21	606	29
2			
3			
計	257	14,924	58

前年比 139.8%

観覧者(常設展+特設展+新収蔵展)

合計 1,248,038 名

## 特設展観覧者数

年度	名 称	会 期	日数	観覧者数
H2	山梨と高浜虚子	H2.10.13～H2.11.18	33	8,785
H3	辻嵐外と嵐外十哲	H3.4.27～H3.6.2	33	8,996
	たけくらべの世界	H3.7.16～H3.8.25	36	10,378
	映画と文学	H3.10.22～H3.12.1	36	9,814
	文学者の扇面と年賀状子規がいて、漱石がいて、さうして…	H4.1.8～H4.2.2	22	2,327
H4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	H4.4.8～H4.6.2	48	12,152
	佐野四郎の世界－富士見ゆる丘より	H4.6.3～H4.8.4	54	6,650
H5	やまなしの自然と文学	H5.6.19～H5.8.22	56	6,973
	五味可都里と蟹守の周辺	H5.8.24～H5.10.24	53	8,648
	芥川龍之介 草稿の世界	H5.10.30～H6.1.30	66	8,876
	野尻抱影 書簡の世界	H6.2.5～H6.4.10	51	5,519
H6	歌人の手紙	H7.3.4～H7.4.16	33	4,220
H7	やまなし文学賞の受賞者たち	H7.7.29～H7.9.17	44	3,756
	中村星湖への手紙	H7.12.2～H8.2.18	56	3,324
H8	『豹・レオパール』の詩人たち－宮田柁夫資料より－	H8.6.11～H8.7.7	24	1,861
	蛇笏山脈の人－西島麦南・松村蒼石・榎本虎山－	H8.11.27～H9.2.16	57	3,629
H9	芥川龍之介の草稿	H9.7.19～H9.9.15	55	5,932
	村松定孝氏収集	H10.1.8～H10.2.15	32	1,274
H10	児童文学－山梨ゆかりの作家群－	H10.7.18～H10.9.13	50	3,778
	鳴山草平資料	H11.1.23～H11.2.21	23	757
H11	山岳関連名著展－百瀬舜太郎コレクションより－	H11.7.13～H11.8.29	41	4,202
H12	脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎	H12.7.18～H12.8.27	34	2,019
	山梨の文芸誌－大正から昭和初期	H13.1.2～H13.2.18	42	1,068
H13	やまなしの児童文芸－「赤い鳥」「金の船／金の星」「童話」を中心に－	H13.7.17～H13.9.2	41	2,086
	山梨の文芸誌－戦後から現代まで－	H14.1.2～H14.2.17	41	1,121
H14	足立源一郎 『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	H14.6.18～H14.9.1	66	4,013
H15	山梨の農民文学	H15.7.19～H15.8.31	38	1,947
H16	山崎方代 歌と書の世界	H16.4.29～H16.5.30	27	2,862
H17	山梨のアララギ派歌人展「伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に」	H17.7.23～H17.8.31	34	1,393
H18	「赤毛のアン」の世界へ	H18.7.22～H18.8.27	33	4,138
H19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	H19.7.21～H19.8.26	33	4,100
H20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	H20.7.19～H20.8.24	32	2,909
H21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」－青い瞳の涙－	H21.7.18～H21.8.23	30	3,027
	収蔵名品展（常設展示室リニューアル工事中で常設展観覧料で観覧）	H21.12.2～H22.2.28	44	3,007
H22	くじらぐもからチックタックまで－国語教科書にのったお話し原画展－	H22.7.25～H22.8.29	31	10,495
H23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	H23.7.23～H23.8.28	35	2,686
	樋口一葉 山梨への手紙	H23.11.19～H23.12.25	32	2,127
H24	フランダースの犬	H24.7.21～H24.8.26	33	5,034
	飯田蛇笏展	H24.9.29～H24.11.25	53	6,553
	文学館至宝展（富士の国やまなし国文祭共催事業）	H25.1.14～H25.3.17	54	

182,436

### 収蔵品展観覧者数

年度	名 称	会 期	日数	観覧者数
H4	新収蔵品展	H5.3.2~H5.3.24	20	2,831
H6	新収蔵品展	H6.7.23~H6.9.18	49	6,954
H7	新収蔵品展	H8.3.2~H8.3.17	15	1,059
H8	収蔵品展	H9.3.16~H9.4.13	24	2,865
H9	収蔵品展	H10.3.7~H10.4.12	32	12,432
H10	収蔵品展	H11.3.2~H11.3.22	19	870
H11	収蔵品展	H12.3.7~H12.4.2	24	1,093
H12	収蔵品展	H13.3.6~H13.4.1	23	1,044
H13	収蔵品展	H14.3.5~H14.3.31	23	859
H14	収蔵品展	H15.1.2~H15.3.30	75	2,879
H15	収蔵品展	H16.1.2~H16.3.28	74	10,980
H16	収蔵品展	H17.1.2~H17.3.27	72	2,369
H17	収蔵品展	H18.1.17~H17.3.26	60	2,273
H18	収蔵品展	H19.1.16~H19.3.25	60	1,834
H19	収蔵品展	H20.1.22~H20.3.30	60	2,667
H20	収蔵品展	H21.1.20~H21.3.29	59	2,313
H21	収蔵名品展(特設展示として)	H21.12.2~H22.2.28		
H22	収蔵品展	H23.1.19~H23.3.27	59	2,958
H23	収蔵品展	H24.2.2~H24.3.21	43	2,403

60,683

両展合計

243,119

平成25年度 山梨県立文学館企画展・特設展概要

名 称	会期	展示内容
富士の国やまなし国文祭記念事業 特設展 「富士山と文学」	4月27日(土) ～ 7月7日(日)	古くから日本人があこがれと畏敬の念を抱いてきた富士山。 万葉集のうたや太宰治の「富嶽百景」、草野心平の詩など、文学に描かれた様々な富士山を紹介します。 * 常設展の一環として開催
特設展 「あそぶぜ！ かいけつゾロリのおたのしみ大さくせん ～原ゆたかとゾロリのなかまたち」	7月20日(土) ～ 8月25日(日)	原ゆたかの児童書「かいけつゾロリ」は、1987年にポプラ社から発刊されて以来、子どもたちに大人気のシリーズです。ゾロリの楽しい世界と作者原ゆたかを紹介し、夏休み期間中に子どもたちに本に親しみ、楽しんでもらう展覧会です。 * 常設展の一環として開催
富士の国やまなし国文祭記念事業 企画展 「与謝野晶子展」	9月28日(土) ～ 11月24日(日)	明治・大正・昭和を生きた情熱の歌人と謝野晶子(1878～1942)。 晶子は山梨とのゆかりも深く、夫の寛と共に上野原市や富士川町を訪れ、地元の人々と交流し、多くの歌を詠んでいます。 山梨での足跡とともに、短歌・評論・社会運動と、様々な分野に業績を残した晶子の華麗な生涯をたどります。
新収蔵品展	平成26年 1月25日(土) ～ 3月23日(日)	平成25年度に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。 * 観覧料無料

## 教育普及担当事業について

教育普及事業は次のとおりです。

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう、土・日や平日にも開講します。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務めます。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画です。平成2年から毎年実施しています。
朗読鑑賞会	作品(詩・小説など)の魅力を朗読によって鑑賞する企画です。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博しています。県内外から著名な講師を呼んで実施します。
山梨文学散歩	16年度から実施しています。実行委員会とNPOとの協働事業とし、コースにあたる市町村の協力のもと開催します。
山梨の文学解説講座	この講座は、学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座です。当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に出向いて講義をします。
就業体験(インターンシップ)受け入れ	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっていることから、文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組んでいきます。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図ります。
児童・博学連携事業について	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ります。若者の読書離れの実態を考慮し、学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育てていくことを目的に実施します。

## 教育普及事業について

今年度、新たに始めた「リーディングシアター2012 in 文学館」について

- 1 日時等 平成 24 年 12 月 8 日（土）13:30～16:00 山梨県立文学館講堂
- 2 参加者 小学校 4 校(5 チーム) 中学校 6 校 (9 チーム)  
高校 2 校 (進行 2 名・模範朗読 1 名)  
(合計) 小中学生 88 名 高校生 3 名 引率者 16 名 保護者等 170 名
- 3 参加児童・生徒の感想から
  - ・たくさんの方がいたので緊張したが、やりがいがあった。
  - ・達成感がすごかった。
  - ・みんなと力を合わせてやると、やっぱり気持ちがいい。
  - ・この発表会は僕たちにとって晴れ舞台でした。
  - ・これから読むときの工夫や表現がわかった。
  - ・高校生は、迫力があって、声もよく響き上手だった。
  - ・高校生の朗読は、情景を思い浮かべながら聞くことができた。
  - ・来年もやりたい。学校とは違う体験ができて楽しかった。ちょっとリベンジしたい。
  - ・一つの声でいろんな思いが伝わることが実際にきいてみて感じることもできた。
- 4 先生方から
  - ・聞き手を意識して読めたこと、他の朗読を聞いたことが良い経験になった。
  - ・子どもの生き生きとした表情、工夫された声音に感動した。
  - ・中学生の発表は、小学生に驚きと感動を与えてくれた。
  - ・このような場があることで生徒は本気になって取り組めた。
  - ・どういう朗読をよしとするのか、事前に学習会を企画してほしい。
  - ・リハーサルのあり方やマイクの音量等本番同様にやってほしい。
- 5 保護者から
  - ・このような取り組みがあることを初めて知りました。
  - ・「走れメロス」には感動し、自然と涙がこぼれ、朗読の良さが少しわかりました。
  - ・子どもが友達と読んだ本日の思い出は一生忘れないと感謝します。

## 6 その他（文学館協議会委員・春日居中学校校長 佐藤先生より）

- ・時代はインプットからアウトプットへと変わりつつあり、授業や学習で児童生徒が身につけた知識技能等を、いかに社会に生活に、活かし活用できるかということが問われている中で、タイムリーな企画だった。
- ・これまで文学館へは、大人の朗読を聴きに行く、映画を鑑賞に行く、調べ学習で訪問するなど、静的な、また、やや受け身の対象認識であったものが、今回の企画を機に、子どもたちは、文学館へ行って講堂というステージで、教室で頑張った読みを活かして多くの方々に自分たちの朗読を聞いてもらおうという意識を持ったことが尊いと思われる。
- ・生徒の発表した本の初版本などを展示してくれ、手に取って見ることもでき、『本』の価値、『本』の尊さを感じてくれた。昔から本は人の心を慰めて励まし語り掛けてきた存在だったことが実感でき、文学館ならではのアイディアに感謝します。
- ・当日応援に駆けつけた保護者家族も文学館の空気に触れ、落ち着く居場所を感じてくれていた。参加した子どもも大勢の聴衆に聴いて頂けたことに満足し、来年はもっと良い発表をしたいと感じていた。
- ・夏の教育課程説明会国語部会において、言語活動の充実と具現化の場として、この文学館の企画を県内の小中学校の国語教師に発信してもらえた。
- ・この企画を継続発展の方向で推進していただきたい。

## 7 成果と課題

- ・今年度立ち上げた事業である。平成 24 年 2 月の文学館協議会でのご意見を元に検討する中で実現した。
- ・文学館の場所も知らないという保護者などに向けて、文学館のパンフレット等を配付し、足を運んでもらうことができた。常設展示室の観覧者も 80 名を超え、児童生徒もチャレンジクイズに挑戦してくれ、文学館を知ってもらう良い機会になった。
- ・事業を発展していくためには、児童生徒の参加への理解や移動手段の確保、引率の先生方の身分保障など、学校の理解や協力が必要である。
- ・参加を呼びかけるために、県内の全学校に要項を送付した。また、知り合いの先生方に直接依頼した。前回の文学館協議会で、委員より市町村教育委員会や県の教育事務所の協力を得るよう意見をいただいたところであり、次回開催時には、学校への参加のお願い・広報などの協力を依頼する。
- ・「リーディングシアター2012 in 文学館」に参加することを授業の目標にして取り組んでくれた学校から、授業の指導案いただいた。これらを今後の授業に活用してもらい、さらに取り組んでくれる学校を増やす。



## 平成25年度 閲覧室事業計画(案)

### ◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<p><b>富士をめぐる文学</b>            富士山は日本の象徴として世界にも広く知られ、魅了された人々は様々な形で富士を描いた。特設展「富士山と文学展」にあわせ、富士に魅せられた文学者の作品の数々を紹介する。</p>	平成 25 年 4 月 27 日 (土) ~ 7 月 7 日 (日)
<p><b>ぼくのヒーローわたしのヒーロー</b>            時代を越えて、多くの人々に親しまれてきた名作の中のヒーローたち。魅力的な主人公が活躍する物語は、私たちの胸をわくわくさせる。児童文学作品など、登場するヒーローたちを紹介する。</p>	平成 25 年 7 月 20 日 (土) ~ 8 月 25 日 (日)
<p><b>与謝野晶子の世界</b>            与謝野晶子は、歌人、古典文学研究者、教育者、そして女性の自立の推進者として活躍し、山梨にもたびたび足を運んだ。秋の企画展「与謝野晶子展」にあわせ、歿後 70 年を経た晶子の、新たな魅力をさぐる。</p>	平成 25 年 9 月 27 日 (金) ~ 11 月 24 日 (日)
<p><b>装幀の美</b>            表紙や扉の絵、タイトルの文字、カバーや箱など、1冊の本には、様々な意匠が施される。著名な画家や思いがけない作家が手掛けたものなど、作品とともに見る人を魅了する装幀の数々を紹介する。</p>	平成 26 年 2 月 1 日 (土) ~ 4 月 13 日 (日)

#### ◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏（4／26生）	平成25年4月12日（金）～4月30日（火）
樋口一葉（新暦5／2生）	平成25年5月2日（木）～5月23日（木）
太宰治（6／19生）	平成25年6月5日（水）～6月26日（水）
飯田龍太（7／10生）	平成25年7月3日（水）～7月24日（水）
辻邦生（9／24生）	平成25年9月6日（金）～9月27日（金）
山崎方代（11／1生）	平成25年10月30日（水）～11月20日（水）
芥川龍之介（3／1生）	平成26年2月19日（水）～3月12日（水）

#### ◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成25年 6月15日（土）

第2回 同 11月20日（水） 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など